

カキ生育情報

第 3 報
千葉県農林水産部
令和 5 年 7 月号

6月の気温は平年より高く、果実の発育は平年より進んでいます。摘果を不整形果や病虫害被害果を中心に、枝管理を込み合った所の枝葉の間引きを中心に行います。炭疽病やカキノヘタムシガ等に対する病虫害防除も重要な時期となります。

1 令和5年6月の気象

令和5年6月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は第5半旬を除く全ての半旬で平年より高かった。月平均気温は21.9℃で、平年より1.0℃、前年より0.4℃高かった。降水量は第1及び第2半旬が平年より多かったが、他の半旬は平年より少なく、第4及び第6半旬は降雨がなかった。月合計は220mmで、平年の96%、前年の138%であった。日照時間は第4及び第5旬が平年より多く、他の半旬は平年と同じか少なかった。月合計は129時間で、平年の96%、前年の78%であった。

表1 令和5年6月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(時間)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	20.6	19.7	20.6	128	21	1	28	28	40
2	20.8	20.1	18.1	57	41	21	14	25	19
3	21.7	20.5	18.8	30	47	40	8	21	11
4	22.4	21.2	22.1	0	42	17	37	20	10
5	21.4	21.4	23.6	6	51	81	22	20	24
6	24.6	22.6	25.9	0	28	0	21	21	63
平均/計	21.9	20.9	21.5	220	229	159	129	135	166

平年値:2021年5月より、気象庁の方法と同じく1991~2020年の30年間の平均値

2 7~8月の作業

1) 摘果

「西村早生」では、果頂部が凹んでいる果実あるいは部分的な生育不良により不整形になった果実は、渋果となる恐れがあるので摘果する。8月中旬頃と収穫前の9月にも、渋果を樹上選別するための摘果を行うので、7月の時点では目標着果数（10a当たり12,000果）より2割程度多め（10a当たり14,000~15,000果）に果実を残しておく。

なお、いずれの品種も目標着果数を下回る場合は、樹勢のバランスを保ち隔年結果を助長しないようにするため、摘果は不整形果や病虫害被害果の除去など必要最小限にとどめる。

2) 枝管理

せん定が不十分であったり、不定芽（陰芽）が多く発生している所は、枝葉が込まないよう芽かき、摘心を行う。また、枝葉が込み合っている所や葉が傷んでいる場合も、病害の発生を抑え、枝の充実を図るため、枝や葉を間引きして風通しを良くする。特に、炭疽病の発生した枝は果実等への感染源になるので必ず摘除する。なお、2次伸長枝はこの時期は放任する。

枝葉が少ない場合は徒長枝等もせん除せず、ねん枝や誘引によって葉数確保に努める。

3) かん水

夏季の高温及び過乾燥が続くと、根の生育が停止して果実肥大が抑えられ、熟期の遅れ、着色不良、糖度不足、翌年の着花量不足などが生ずるので、かん水が必要である。特に、乾きやすい園、作土の浅い園では早め、多めに行いたい。

4) 病虫害防除

7月から9月上旬は、炭疽病、落葉病、うどんこ病とカキノヘタムシガの防除時期である。炭疽病は雨滴によって飛散伝染するため、降雨が多い場合は特に留意する。

カキノヘタムシガは7月上旬～下旬及び8月中旬に防除を行う。また9月上旬～中旬にバンド誘殺を開始する。防除に際しては、千葉県農作物病虫害雑草防除指針を参照を行う。

3 樹及び果実の生育

6月30日現在のカキの果径を表2に示した。横径は「西村早生」、「松本早生富有」が2地区の平均でそれぞれ4.15cm、4.59cm、「富有」が4.37cmであった。本年の横径は「西村早生」が平年の118%、前年の110%であった。「松本早生富有」が平年の122%、前年の124%であった。「富有」が平年の123%、前年の118%であった。

縦径は「西村早生」、「松本早生富有」が2地区の平均でそれぞれ3.18cm、3.26cm、「富有」が3.35cmであった。本年の縦径は「西村早生」が平年の115%、前年の107%であった。「松本早生富有」が平年の114%、前年の110%であった。「富有」が平年の118%、前年の110%であった。

果形指数は「西村早生」、「松本早生富有」が2地区の平均でそれぞれ1.31、1.41、「富有」が1.30であった。本年の果形指数は3品種共に平年より大きく、横長の傾向であった。

本年の果実の発育は3品種共に平年より進んでいる。暖地園研の着果量は3品種共に平年並である。なお、本年の生理落果は6月上旬に始まり現時点ではまだ終了していないと思われる。いずれの品種も生理落果量は平年並である。今のところ目立った病虫害の発生はみられない。

表2 果実の生育（6月30日の果径）

品 種	調査地	横 径(cm)			縦 径(cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西 村 早 生	いすみ市	4.00	3.48	3.64	3.08	2.78	2.91	1.30	1.25	1.25
	暖地園研	4.30	3.54	3.88	3.27	2.76	3.01	1.31	1.28	1.29
	平 均	4.15	3.51	3.76	3.18	2.77	2.96	1.31	1.27	1.27
松本早生富有	市 原 市	4.41	3.85	3.38	3.06	2.81	2.70	1.44	1.37	1.25
	暖地園研	4.77	3.68	4.01	3.46	2.89	3.23	1.38	1.27	1.24
	平 均	4.59	3.77	3.70	3.26	2.85	2.97	1.41	1.32	1.25
富 有	暖地園研	4.37	3.55	3.70	3.35	2.83	3.04	1.30	1.25	1.22

果形指数：横径/縦径

平年：暖地園研は1990年～2022年の平均、いすみ市は1998年～2022年、市原市は1999年～2022年の平均

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

発行：千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室

【生育情報の問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。